

第5回審議会でのご意見等を踏まえた対応状況について

【資料1】

発言者		該当項目	ご意見等	対応状況
1	志村委員	全体	築地市場の移転問題については、先行きが不透明であるため、移転を予定しているという表現は、ふさわしくないのではないか。（P 5、P 4 8、P 4 9）	移転の方針が変わっていないため、記載の変更はしないものの、答申までの間に東京都の方針など現状が大きく変化した場合には、記載内容について検討する。
2	志村委員	P 4 9 （ア）都心商業の推進 4 段落目	「築地の活気とにぎわい」に関する記述について、P 5では、「継承・発展」という表現としているため、P 4 9においても表現を統一すべきではないか。	ご意見のとおり対応
3	志村委員	P 4 8 （イ）世界に発信する魅力的なまちづくり 2 段落目	「こうした有形・無形の歴史的遺産を活用しながらまちづくりを行うことにより」の「まちづくり」の前に「抑制的な」を追記したい。	積極的な行動と抑制的な行動の双方がバランスよく組み合わさることで魅力的な都市機能を図ることができるため、修正は行わない。
4	志村委員	P 5 1 （イ）来街者受入環境の充実 1 段落目	「インバウンドなどの地域経済の活性化とともに」の「地域経済の活性化」の後に「や違法民泊対策」を追記したい。	具体的な事業であるため記載しないものの、今後、区において、具体的な施策・取組を検討する際に参考とすべきものと考えている。
5	青木委員	P 8 （5）多様な絆が融合した「プロアクティブ・コミュニティ」の確立	「プロアクティブ・コミュニティ」という言葉は、日本ではまだ定着していないのではないか。区民に分かりやすい言葉なのか疑問である。	新たな言葉を使うことで20年先を見据え積極的に取り組んでいくという決意を示している。また、パブリックコメントで「プロアクティブ・コミュニティ」に対する違和感や反対意見がなかったこと、注書きも記載していることなどから、変更しないこととする。
6	山本委員		「プロアクティブ・コミュニティ」の「プロ」は付けなくてもよいのではないか。「プロ」を付けると、人々に思いを躍起させるような要素があると同時に、あまり一般的な言葉ではない。「アクティブ・コミュニティ」とすれば20年後も貫き通せる言葉となるのではないか。	
7	志村委員		「プロアクティブ・コミュニティ」については、その内容を鑑みれば、「地域力」とすると良いのではないか。	
8	山本委員	P 5 2 （イ）来街者受入環境の整備	「通信環境」という表現は、電話等をイメージしてしまう。「情報環境」に改めてはどうか。	「情報環境」は通信手段以外も含まれるため、具体的に「無料公衆無線LAN」とする。

発言者		該当項目	ご意見等	対応状況
9	松本委員	P 8 (3) 誰もがあこがれ、住みたい・働きたい都心の実現	「あこがれ」という表現は、外からの視点であるが、中からの視点が必要である。 「住む人・働く人、誰もが誇れる都心の実現」としてはどうか。 ただ、「誇れる」という表現は、将来像の説明文章に使われているため、重複してしまうことについて懸念している。「後世に自負できる」というようなニュアンスを入れたい。	住む人、働く人が幸せを感じるとともに、誇りを持てる中央区を実現していくという将来像について、委員共通の意識として確認できたと認識している。 この基本的な方向性の3番目の項目は、主に安心部会で話し合われた福祉保健等の分野や快適部会における消費生活・住環境の分野を縦貫して表現したものである。 区民や在勤者が地域に愛着を持ち、安心して暮らしやすいまちを構築することで、周囲から住みたい、働いてみたいという「あこがれ」のまちにつながり、そのうえで、周囲からあこがれられるまちに住み、働いている区民や在勤者は、さらに地域への愛着を深められるものとする。また、20年という期間を考慮し、区民や在勤者に限定せず、周囲の人々も、「中央区にいてみたい」といった気持ちを引き出すような思いを込め表現している。 これに、他の基本的な方向性をあわせ持つことで、将来像の実現に向けて好循環につながるものとする。 以上のこととともに、パブリックコメントにおいても、「あこがれ」に対する違和感や反対意見はなかったことなどを勘案し、変更しないこととする。
10	榊原委員		松本委員の意見に賛成である。「あこがれ」という言葉に違和感を感じる。	
11	山本委員		「誇れるまち」は好きですが、「住みたい・働きたい」は新しい人が中央区にいてみたいと思わせる表現であって、「住む人・働く人が誇れる」はインサイドの皆でよくなるというニュアンスに聞き取れると感じた。	
12	岩田委員		「誇れる」ということが前提にあり、さらに「あこがれ」を目指していくというように理解している。	
13	古屋委員		「あこがれ」で良いのでは。	
14	伊藤委員		「あこがれ」という言葉に違和感を感じる。 「住み・働くことを誇れる魅力的な都心の実現」としてはどうか。	
15	三田委員	P 3 0 (3) 魅力ある都市機能と地域の文化を世界に発信するまち P 4 7 (エ) 公共交通の整備促進	B R T、地下鉄新線についての表現の統一をすべきではないか。	ご意見のとおり対応
16	三田委員	P 1 5 ②時代の変化に対応し、最先端の都市型産業として進化する環境づくり P 5 0 (ア) 企業活動の活性化と経営の支援	安心部会での検討の結果、男女共同参画としていた表現を性別や年齢を超えた共生社会に改めた。 起業に関しては、「女性や若者」に限定しているが、38頁の「(ア)社会参加と生きがいづくり」では、「一度退職した後に起業したり」となっているで、女性や若者に限定すべきではない。	ご意見のとおり対応
17	梶原委員	P 1 5 ②時代の変化に対応し、最先端の都市型産業として進化する環境づくり	「足腰の強い」という表現に違和感を感じる。	趣旨は継承するものの、表現を改める。